

令和元年9月19日



担当課	文化振興課 博物館
担当者	近藤・佐藤
電話	(073) 423-0003
内線	

## 徳川家入国 400 年記念 特別展「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」の開催について

紀伊藩祖・徳川頼宣の生涯を紹介。県立博物館との共同開催！

徳川頼宣(よりのぶ、1602～71)が和歌山に入国して 400 年の節目に行うこの展示では、和歌山市立博物館と和歌山県立博物館との共同調査の成果もふまえ、父・徳川家康から譲り受けた宝物をはじめ、頼宣や頼宣ゆかりの人物（市立博物館では母・養珠院)の所用品、紀伊徳川家ゆかりの寺社に残されている宝物、頼宣に仕えた家臣の家に伝来した資料などを紹介します。

1. 展覧会名称 徳川家入国 400 年記念 特別展「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」
2. 会 期 令和元年 10 月 19 日（土）～11 月 24 日（日） 開催日数 31 日間  
休館日：毎週月曜日  
（ただし、11 月 4 日は開館、10 月 23 日、11 月 5 日は休館）
3. 入 館 料 一般・大学生 500 円  
※高校生以下・障害者・和歌山市老人優待券を持参の方は無料
4. 会 場 和歌山市立博物館 2 階 特別展示室  
（和歌山市湊本町 3 丁目 2 番地）
5. 展 示 資 料 74 件 94 点（県立博物館 128 件 250 点、合計 202 件 344 件）  
重要文化財 3 件 3 点、和歌山県指定 6 件 6 点、和歌山市指定 3 件 4 点



徳川頼宣像

### 関 連 イ ベ ン ト ※詳細はチラシをご覧ください。

- ①特別講演会 11 月 9 日（土） 14 時～15 時 30 分 市立博物館 2 階講義室
- ②担当学芸員の講演会 10 月 27 日（日）・11 月 2 日（土） 14 時～15 時 30 分 市立博物館 2 階講義室
- ③現地見学会 11 月 4 日（月・振休）和歌の浦を歩く 11 月 16 日（土）城下町北部を歩く
- ④ミュージアム・トーク（展示解説） 10 月 19 日（土）・11 月 3 日（日・祝）・11 月 17 日（日）  
いずれも県立博物館 11 時～12 時 市立博物館 14 時～15 時
- ⑤徳川宜子氏記念講演会 11 月 23 日（土）  
（紀伊徳川家 19 代当主）

【添付資料】チラシ・みどころガイド・出陳資料目録



和歌山県指定文化財 東照宮縁起絵巻  
 尊純法親王・住吉広通筆  
 【紀州東照宮蔵】

# 徳川頼宣と 紀伊徳川家の 名宝

徳川家人国400年記念 特別展



和歌山県指定文化財 縹糸威勝丸具足  
 徳川頼宣所用  
 【紀州東照宮蔵】

特別協力  
 紀州東照宮

令和元年(2019)

10月19日[土]—11月24日[日]

【県博・市博の共同開催】

特別講演会 11月9日(土) 白根孝胤氏(中京大学教授)  
 「徳川御三家の成立と将軍家」

講演会 10月27日(日)  
 前田正明(県立博物館主任学芸員)  
 「徳川頼宣と  
 伏見・駿河・紀伊」

11月2日(土)  
 佐藤 顕(市立博物館学芸員)  
 「徳川頼宣と領内の寺社」

特別講演会・講演会とも市立博物館 2階講義室  
 14時～15時30分

イベント 11月23日(土)  
 徳川宜子氏記念講演会 ※詳細は市立博物館に  
 (紀伊徳川家19代当主) お問い合わせください。  
 現地見学会・ミュージアムトーク(展示解説)も行います。詳細は裏面をご覧ください。

	和歌山県立博物館	和歌山市立博物館
開館時間	9時30分～17時(入館は16時30分まで)	9時～17時(入館は16時30分まで)
入館料	一般 830円(680円) 大学生 520円(410円) ※( )内は20人以上の団体料金 高校生以下・障害者・65歳以上・ 県内在学中の外国人留学生は無料	一般・大学生 500円(400円) ※( )内は20人以上の団体料金 高校生以下・障害者・和歌山市 老人優待券を持参の方は無料
休館日	月曜日/但し、11月4日・11日は開館、 5日・13日は休館	月曜日/但し、11月4日は開館、 10月23日・11月5日は休館



**和歌山県立博物館**  
<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>  
 〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467  
 WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

交通  
 機関

県立博物館 ● JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分 ● 和歌山ICから車で約20分  
 ● 和歌山港から車で約7分 (駐車場)博物館へ入館の方は2時間まで無料、以後30分ごとに100円。  
 市立博物館 ● 南海和歌山駅から南西へ徒歩5分 ● JR和歌山駅からバス「南海和歌山駅」下車 ● 和歌山  
 ICから車で約25分 ● 和歌山港から車で約7分 (駐車場)最初の1時間まで100円、以後30分ごとに150円。

**和歌山市立博物館**  
<http://www.wakayama-city-museum.jp>  
 〒640-8222 和歌山市湊本町3-2 TEL.073-423-0003 FAX.073-432-9040  
 WAKAYAMA CITY MUSEUM

県立博物館

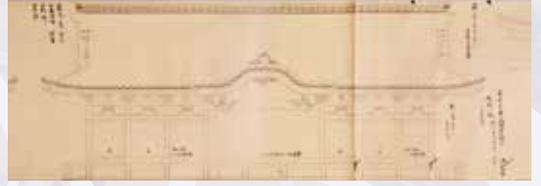


●薄浅葱系威五枚胴具足(安藤直清所用)  
和歌山県立博物館蔵  
南蛮好みであった直清の嗜好を示す

徳川頼宣(1602~71)が和歌山に入国して400年の節目に行うこの展覧会では、和歌山県立博物館と和歌山市立博物館との共同調査の成果もふまえ、父・徳川家康から譲り受けた駿河御分物をはじめ、頼宣や頼宣ゆかりの人物(母・養珠院、正室・瑤林院など)の所用品、紀伊徳川家ゆかりの寺社に残されている宝物、頼宣に仕えた家臣の家に伝来した資料などを紹介します。



●重要文化財  
南蛮胴具足(徳川家康所用) 紀州東照宮蔵  
頼宣が家康の遺品として譲り受けた駿河御分物の1つ



●このみややかたのす  
御香宮屋方之図 御香宮神社蔵  
寛永2年(1625)頼宣が御香宮境内に建てた大拝殿も描く



●銅製香炉 並 朱漆塗香台 長保寺蔵  
將軍徳川吉宗が長保寺にある頼宣の霊前に寄進したものの



●焼津市指定文化財(附)  
徳川頼宣守り本尊 並 内厨子 海蔵寺蔵  
駿河時代の頼宣が守り本尊とした地藏菩薩と厨子

市立博物館



●法華経寿量品 徳川頼宣筆 養珠寺蔵  
頼宣が母・養珠院の三回忌に奉納



●七面山踏分之霊像(養珠院像) 本遠寺蔵  
養珠院は女性で初めて七面山に登った



●水野重仲像 全正寺蔵  
紀伊藩付家老水野重仲の肖像画

〈関連企画〉

【現地見学会】

11月 4日(月・振休) 「和歌の浦を歩く」 13時30分~15時30分  
11月16日(土) 「城下町北部を歩く」 13時30分~15時30分

【両日とも事前学習会を開催】

10時30分~11時30分  
講師 藤本清二郎氏(和歌山大学名誉教授)

参加費無料、  
事前申し込み必要

9月20日(金) 13時から受付開始 各定員 30人 受付先 県立博物館  
受付方法 電話(073-436-8670)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

10月19日(土)・11月3日(日・祝)・11月17日(日) 県立博物館 11時~12時 市立博物館 14時~15時

# みどころガイド

今年は紀伊藩初代藩主となる徳川頼宣が駿河から紀伊に入国して400年になる記念の年です。それを記念するこの展覧会では、和歌山市立博物館と和歌山県立博物館とがおこなった共同調査の成果も紹介します。1つの展覧会を2館でおこなうという初めての試みです。

徳川頼宣が、父である徳川家康をまつるために建立した紀州東照宮に残る、家康と頼宣の所用品(甲冑・刀剣・装束など)を2館でご覧いただけます。

## ①徳川家康の50回忌に頼宣が紀州東照宮へ奉納した太刀 市立博物館で展示



安綱は、平安時代後期に活動した伯耆国(鳥取県)の刀工。腰反りの高い中<sup>ちゅうきつぎさき</sup>鋒<sup>こしぞ</sup>の太刀姿で、鍛えは板目に全目が交じり、地色は黒い。刃文は、<sup>ちいろ</sup>広直刃<sup>ひろすぢは</sup>に小互<sup>こご</sup>の目を交えている。拵は、<sup>なしじ</sup>梨子地に葵紋の蒔絵<sup>まきえ</sup>を配し、柄は黒地金襴<sup>きんらん</sup>の地に茶糸を巻く。寛文5年(1665)4月17日の家康五十回忌に頼宣が東照宮へ参拝して奉納した太刀と伝えられている。

(資料番号 88 太刀 銘安綱 附 糸巻太刀拵 紀州東照宮蔵 重要文化財)

共同調査で確認できた、和歌山県外の寺社に残る頼宣にかかわる資料や頼宣の生母・お万の方(養珠院)にかかわる資料をご覧いただけます。

市立博物館では、熱心な日蓮宗の信者であったお万の方とかかわりが深かった本遠寺(山梨県身延町)に残されている資料を紹介します。

県立博物館では、頼宣が紀伊に入国する前に拠点としていた伏見(御香宮神社)や駿河(海蔵寺)に残されている資料を紹介します。

## ②頼宣の母が祈り、その後頼宣を授かったと伝えられる鬼子母神像 市立博物館で展示



頭部に<sup>もどり</sup>髻<sup>もとどり</sup>を結って破顔大笑し、唐装をまとった胸元に幼児を抱き抱え、右手には石榴を執って葉荷座に立つ。鬼子母神はもともと子を喰らうインドの鬼神であったが、<sup>きしもじん</sup>釈迦に帰依して子供の守護神となつたとされ、法華経信仰とも結びついて日蓮宗においては盛んに祀られている。日蓮宗を帰依した頼宣の母・お万の方(養珠院)が「何とぞ智勇兼備の男子をお授けください」と一心にこの像へ祈り、その後授かっただのが頼宣であったと伝えられている。

(資料番号 54 子安鬼子母神立像 本遠寺蔵)

頼宣は紀伊藩初代藩主として藩政を確立した人物で、亡くなってからも藩祖として顕彰されていきました。市立博物館では、明治時代以降に紀州東照宮や頼宣をまつる南龍神社(のちに紀州東照宮に合祀)へ奉納された品を紹介します。

県立博物館では、紀伊徳川家の菩提寺である長保寺に残る頼宣ゆかりの品を紹介します。

### ③最後の藩主・徳川茂承が東京へ移住する前に東照宮へ奉納した家康の兜 市立博物館で展示



徳川家康所用と伝えられる兜で、明治4年(1871)旧藩主徳川茂承が奉納した。黒漆塗の鉢は六間の筋鉢だが、上部に向かってやや尖った椎実形を呈する。兜の頂上にある天辺の座は小振りで、鍍金を施した花形座に菊の花弁をかたどった菊座を重ね合わせる。真向に眉庇を備え、その上方に歯朶をかたどり鍍金を施した前立を立てる。鞆は茶漆塗の日根野形で、切り付けざねを茶糸で毛引に威している。

(資料番号 189 六間筋兜 徳川家康所用 紀州東照宮蔵 和歌山県指定文化財)

徳川家入国400年記念特別展「徳川頼宣と紀伊徳川家の名宝」出陳資料目録

I 父と子

(1)人となり

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
1		徳川家康像	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
2	和歌山県	東照宮縁起絵巻 尊純法親王・住吉広通筆	5巻	正保3年(1646)	紀州東照宮	○(1~4巻)	○(5巻)
3		徳川頼宣像 山本善和筆	2幅	明治時代(19世紀)	和歌山県立博物館 和歌山市立博物館	○	○
4		徳川家系図	1巻	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
5		紀伊徳川家系図	1巻	江戸時代(18世紀)	紀州東照宮		○
6		駿河版群書治要	47冊	元和2年(1616)刊	和歌山県立図書館	○	
7		短冊 徳川家康筆	1幅	安土桃山時代(16世紀)	紀州東照宮	○	
8		年笺	1通	慶長5年(1600)	紀州東照宮	○	
9		鶏図 徳川頼宣筆	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
10		七絶詩書 徳川頼宣筆	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
11		名之書付 徳川頼宣筆	1通	万治元年(1658)	紀州東照宮	○	
12		知行之書付 徳川頼宣筆	1通	寛文7年(1667)	紀州東照宮	○	

(2)大坂の陣と駿府御分物

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
13	和歌山県	縹糸威胴丸具足 徳川頼宣所用	1領	慶長19年(1614)か	紀州東照宮	○	
14	和歌山県	紅地桃文様金糸入繻珍陣羽織 徳川頼宣所用	1領	裂:中国・明時代(16~17時代) 仕立:江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
15	和歌山県	浅葱平絹頭巾 徳川頼宣所用	1頭	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
16	和歌山県	茶麻地葵の葉散小紋鎧下着 徳川頼宣所用	1領	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
17	和歌山県	白地雲文緞子鎧下着 徳川頼宣所用	1領	裂:中国・明時代(16~17時代) 仕立:江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
18	和歌山県	襲襟 徳川頼宣所用	3枚	裂:中国・明時代(16~17時代) 仕立:江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
19	和歌山県	紫地摺箔匂袋 徳川頼宣所用	8枚	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
20	和歌山県	格子麻単袴下 徳川頼宣所用	1枚	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
21	重要文化財	南蛮胴具足 徳川家康所用	1領	16世紀	紀州東照宮	○	
22	和歌山県	南蛮兜 徳川家康所用	1頭	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
23	重要文化財	太刀 銘左近将監景依 正応二 十一月日 附 糸巻太刀拵 一口	1口	刀:正応2年(1289) 拵:江戸時代(17世紀)	紀州東照宮	○	
24	和歌山県	黒漆塗鞍 駿州井関作 徳川家康所用	1脊	天正17年(1589)	紀州東照宮	○	
25	和歌山県	黒漆塗鏡 徳川家康所用	1双	安土桃山時代(16世紀)	紀州東照宮	○	
26	和歌山県	冠 徳川家康所用 附 芦雁時絵箱 一合	1頭	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
27	和歌山県	笏 徳川家康所用 附 青貝螺鈿箱 一合	1握	安土桃山時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
28	和歌山県	石帯 徳川家康所用	1筋	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
29	和歌山県	革沓 徳川家康所用	1双	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
30	重要文化財	紺地宝尽く小紋小袖 徳川家康所用	1領	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
31	重要文化財	藍地花菱唐草文散紋小袖 徳川家康所用	1領	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
32	和歌山県	紅黄縞縹子小袴 徳川家康所用	1腰	安土桃山~江戸時代(16~17世紀)	紀州東照宮	○	
33		能面	11面	室町~安土桃山時代(16~17世紀)	個人	○	
34		駿府御分物目録	1通	江戸時代(17世紀)	個人	○	
35		鶴時絵面筆筒	1棟	江戸時代(17世紀)	個人	○	

(3)御香宮と海蔵寺

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
36		伏見町及び周辺絵図	1幅	江戸時代(18世紀)	御香宮神社	○	
37		御香宮境内古図	1舗	元禄5年(1692)	御香宮神社	○	
38		御香宮屋方之図	1巻	元禄6年(1693)	御香宮神社	○	
39		御香宮縁起 下	1巻	江戸時代(17~18世紀)	御香宮神社	○	
40		山城国伏見御香宮御造宮奉願之覚	1冊	元禄15年(1702)	御香宮神社	○	
41		江戸年頭之扣	1冊	元禄6年(1693)	御香宮神社	○	
42		都名所図会 巻之五	1冊	安永9年(1780)	和歌山県立博物館	○	
43		墨梅図 徳川家康筆	1幅	江戸時代(17世紀)	海蔵寺	○	
44		墨竹図 徳川頼宣筆	1幅	江戸時代(17世紀)	海蔵寺	○	
45		海蔵寺本尊地蔵大菩薩宮殿棟札	1枚	文化13年(1816)	海蔵寺	○	
46		地蔵尊縁起	1巻	寛永3年(1626)か	海蔵寺	○	
47	焼津市	徳川頼宣守り本尊厨子 附 厨子内納入品・内厨子・守り本尊	1基	本尊厨子:江戸時代(19世紀) 内厨子:江戸時代(17~18世紀) 守り本尊:室町時代(16世紀)	海蔵寺	○	
48		紀州家御尋に付書上	1冊	文政7年(1824)	海蔵寺	○	
49		出開帳記録(江戸・紀州)	2冊	①天保3年(1832) ②天保4年(1833)	海蔵寺	○	
50		書「宝城山」 徳川治宝筆	1幅	天保4年(1833)	海蔵寺	○	

II 母と妻

(1)養珠院

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
51		お万の方坐像 厨子入	1軀	江戸時代(19世紀)	本遠寺		○
52		七面山踏分ノ霊像(養珠院像)	1軀	江戸時代(18世紀)	本遠寺		○
53		七面山踏分ノ杖	1本	寛永17年(1640)	本遠寺		○
54		子安鬼子母神立像	1軀	江戸時代(17世紀)	本遠寺		○
55		お万の方書状	9通	江戸時代(17世紀)	本遠寺		○
56		扁額「本遠寺」 本阿弥光悦筆	1面	寛永3年(1626)	本遠寺		○
57		甲州大野山本遠寺建立事	1巻	承応3年(1654)	本遠寺		○

58		甲州大野山本遠寺定式之事	1巻	承応3年(1654)	本遠寺		○
59		徳川頼宣書状 本遠寺日近上人宛	1巻	明暦2年(1656)	本遠寺		○
60		徳川頼宣書状 本遠寺宛	1通	寛文5年(1665)	本遠寺		○
61		本遠寺本堂棟札	1枚	慶安3年(1650)	本遠寺		○
62		大野山本遠寺什物帳	1冊	寛文7年(1667)	本遠寺		○
63		三浦為時書状 日近聖人宛	1通	明暦2年(1656)	本遠寺		○
64		浄心寺書付	1冊	元禄7年(1694)	本遠寺		○
65		養珠院殿除厄祈念尊像	1幅	江戸～明治時代(19世紀)	個人		○
66		版木(養珠院殿除厄祈念尊像)	1枚	江戸～明治時代(19世紀)	報恩寺	○	
67		養珠院日心定書	1幅	寛永19年(1642)	個人		○

(2)瑠林院

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
68		太笑記	1冊	江戸時代(19世紀)	和歌山市立博物館	○	
69		瑠林院手跡	2幅	江戸時代(17世紀)	報恩寺	○	
70		楽琵琶 瑠林院所用	1面	江戸時代(17世紀)	報恩寺	○	
71		楽箏 瑠林院所用	1面	江戸時代(17世紀)	報恩寺	○	
72		加藤清正書状 加藤喜左衛門・下川又左衛門宛	1巻	江戸時代(17世紀)	報恩寺	○	
73		赤地唐草文金糸入縫織織七条袷袋	1領	裂:安土桃山～江戸時代または中国または朝鮮(16～17世紀) 仕立:安土桃山～江戸時代(16～19世紀)	報恩寺	○	
74		日順任権律師口宣案	1通	寛文11年(1671)	報恩寺	○	
75		徳川光貞寺領寄進状	1通	寛文12年(1672)	報恩寺	○	
76		白雲山報恩寺由緒扣	1冊	元禄7年(1694)	報恩寺	○	
77		法華経陀羅尼品第二十六・神力品第二十一	2巻	陀羅尼品:江戸時代(17世紀) 神力品:寛文6年(1666)	報恩寺	○	
78		お万の方坐像 厨子入	1軀	江戸時代(19世紀)	報恩寺	○	
79		鍾馗図 徳川光貞筆	1幅	江戸時代(17～18世紀)	報恩寺	○	
80		法華経提婆達多品	1巻	寛文7年(1667)	報恩寺	○	
81		日蓮聖人坐像	1軀	元和9年(1623)	本久寺	○(11/25から撤去)	
82		万部山本久寺ノ記	1冊	宝永3年(1706)	本久寺	○	

Ⅲ頼宣の紀伊入国

(1)東照宮と和歌浦

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
83		写真(修理前の東照宮)	1枚	明治～大正時代(20世紀)	紀州東照宮		○
84		神鏡「紀伊東照大権現社」	1面	元和7年(1621)	紀州東照宮		○
85		楼門旧扁額「東照大権現」 良恕法親王筆	1面	元和7年(1621)	紀州東照宮		○
86		扁額本紙「東照宮」 守澄法親王筆	1幅	延宝2年(1674)カ	紀州東照宮		○
87	和歌山市	和歌御祭礼図屏風	6曲1双	寛文5年(1665)	海善寺		○
88	重要文化財	太刀 鎔安綱 附 糸巻太刀拵 一口	1口	刀身:平安時代(12世紀) 拵:江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
89		紀州和歌浦妹背山養珠寺建立事	1巻	承応3年(1654)	養珠寺		○
90		養珠寺境内図	1幅	文化8年(1811)	養珠寺		○
91		法華経寿量品	1巻	明暦元年(1655)	養珠寺		○
92	和歌山市	徳川頼宣奉納和歌短冊	1枚	寛文8年(1668)	玉津島神社		○
93	和歌山市	三十六歌仙額 狩野輿甫筆	2枚	万治3年(1660)	玉津島神社		○

(2)駿河越えの家臣たち

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
94		南紀徳川史 巻之七十	1冊	明治31年(1898)	紀州東照宮	○	
95		御家中諸士先祖書	3冊	江戸時代(17世紀)	和歌山市立博物館		○
96		安藤直次像	1幅	江戸時代(18～19世紀)	和歌山県立博物館	○	
97		安藤家系譜	1冊	江戸時代(18～19世紀)	和歌山市立博物館	○	
98		徳川家康旗下二十将図	1幅	江戸時代(19世紀)	和歌山市立博物館	○	
99		和歌山城三の丸安藤家屋敷地出土品	10点		和歌山市	○	
		①唐草文滴水瓦・三巴文軒丸瓦	5点	江戸時代(17世紀)		○	
		②下が切藤紋鬼瓦・滴水瓦・軒丸瓦	5点	江戸時代(18世紀)		○	
100		薄浅葱系威五枚胴具足 安藤直清所用	1領	兜:江戸時代(17世紀) 胴:江戸時代(17～18世紀)	和歌山県立博物館	○	
101		祖公外記 巻二	1冊	文化5年(1808)	和歌山県立図書館	○	
102		新熊野権現社本殿造宮棟札	1枚	寛文元年(1661)	關羅神社	○	
103		水野家系譜	1冊	弘化3年(1846)	全正寺		○
104		紀州新宮城絵図	1舗	宝永5年(1708)	和歌山県立博物館		○
105		水野重仲像	1幅	寛永7年(1630)	全正寺		○
106		水野重良像	1幅	江戸時代(17世紀)	全正寺		○
107		直川府中山論書付写	1冊	江戸時代(18～19世紀)	和歌山市立博物館		○
108		大福山旧記	1巻	江戸時代(17世紀)	本恵寺		○
109		直川荘千手寺僧・番頭等置文写	1巻	長禄4年(1460)	和歌山市立博物館		○
110		三浦家系図伝 完	1帖	江戸時代(19世紀)	和歌山市立博物館		○
111		正木頼忠辞世	1幅	江戸時代(17世紀)	和歌山市立博物館		○
112		あだ物語	3巻	江戸時代(18～19世紀)	個人		○
113		紀伊藩士芦川家文書	8点		和歌山県立博物館	○	
		①徳川家康領知朱印状	1通	慶長11年(1606)		○	
		②知行目録	1通	慶長16年(1611)		○	
		③知行目録	1通	元和6年(1620)		○	

		④知行加増目録	1通	寛永10年(1633)		○	
		⑤知行割替目録	1通	正保3年(1646)		○	
		⑥南龍院御書之写	1通	江戸時代(18～19世紀)		○	
		⑦芦川家系譜	1冊	寛政10年(1798)		○	
		⑧軍旅につき人馬道具定	1通	明暦2年(1656)		○	

#### IV 頼宣の政治と文化

##### (1) 将軍家と紀伊徳川家

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
114		江戸天下祭図屏風	6曲1双	万治2年(1659)ごろ	個人	○	
115		明暦以前江戸紀州藩邸図	1舗	承応元年(1652)	個人	○	
116		和歌山古屋敷絵図	1舗	万治2年(1659)～寛文元年(1661)	和歌山県立図書館	○	
117		阿弥陀寺本堂(旧紀伊藩台徳院壺屋)火灯笼部材	3点	寛永10年(1633)	阿弥陀寺	○	
118	重要文化財(附)	阿弥陀寺本堂(旧紀伊藩台徳院壺屋)修理棟札	1枚	文政13年(1830)	阿弥陀寺	○	
119		紀伊国名所図会 初編巻之一下	1冊	文化8年(1811)	和歌山県立博物館	○	
120		徳川頼宣願文	1通	元和5年(1619)	紀州東照宮	○	
121		徳川頼宣誓書写	1通	寛永19年(1642)	紀州東照宮	○	
122		毘沙門堂公海書状 双巖院宛	1通	寛永19年(1642)	紀州東照宮	○	
123		慈眼大師(天海)像	1幅	江戸時代(19世紀)	長保寺	○	
124		東照大権現宝号 天海筆	1幅	江戸時代(17世紀)	長保寺	○	
125		天海書状 徳川頼宣宛	1通	寛永19年(1642)カ	紀州東照宮	○	
126		小牧長久手合戦図屏風(副本)	6曲1隻	江戸時代(19世紀)	犬山城白帝文庫	○	
127		小牧長久手合戦陣立図(複製)	1幅	原本は江戸時代(18世紀)	可児郷土歴史館 (原本は小松寺)	○	
128		川中島合戦図屏風(紀州本)	6曲1双	江戸時代(17世紀)	和歌山県立博物館	○	
129		三君御旗印 大関左介筆	1巻	江戸時代(17世紀)	和歌山市立博物館	○	
130		宇佐美家系譜	1冊	享和元年(1801)	和歌山県立文書館	○	

##### (2) 領国支配

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
131		伊勢熊野筋諸書留	2冊	正保2年(1645)	和歌山県立博物館	○	
132		正保二年定書写	1通	江戸時代(18～19世紀)	和歌山県立博物館	○	
133		南紀徳川史 巻之九十三	1冊	明治31年(1898)	紀州東照宮	○	
134		紀伊国那賀郡田中荘山之絵図	1舗	元禄12年(1699)	和歌山県立博物館	○	
135		彦坂光正書状	1巻	寛永2年(1625)	和歌山県立博物館	○	
136		浅野幸長定書	1巻	慶長5年(1600)	山神社	○	
137		浅野氏重書状	1巻	慶長9年(1604)	山神社	○	
138		紀伊藩家老連署定書	1巻	元和5年(1619)	山神社	○	
139		紀伊藩家老連署書状	1巻	元和9年(1623)	山神社	○	

##### (3) 新しい文化の芽生え

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
140		人君明暗図説	1幅	江戸時代(17世紀)	個人		○
141		廟算図	1幅	江戸時代(18～19世紀)	和歌山市立博物館		○
142		南紀略志	1巻	江戸時代(18～19世紀)	和歌山市立博物館		○
143		和佐庄中訴状	1通	万治3年(1660)	歎喜寺		○
144		父母状 李梅溪筆	1幅	万治3年(1660)	和歌山市立博物館		○
145		大君言行録	2冊	宝永4年(1707)	個人		○
146		唐人物図屏風 狩野興甫筆	2曲1隻	江戸時代(17世紀)	和歌山県立博物館		○
147		貼交屏風 狩野興甫筆	6曲1双	江戸時代(17世紀)	和歌山県立博物館		○

##### (4) 寺社復興と領内遊覧

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
148		紀伊国造系図	1幅	江戸時代(17世紀)	個人		○
149		紀伊国造印	1顆	平安時代(10世紀)	個人		○
150		加太浦之図	1幅	江戸～明治時代(19世紀)	和歌山市立博物館		○
151		加太淡島遷宮行事	1冊	享保12年(1727)	淡島神社		○
152		従国々御参詣并御代参覚	1冊	江戸時代(17世紀)	淡島神社		○
153		広蓋	2枚	江戸時代(18世紀)	淡島神社		○
154		多葉粉盆	1基	江戸時代(18世紀)	淡島神社		○
155		友箇島行所禁制	1通	万治3年(1660)	個人		○
156		紀伊藩家老奉書	1通	寛文9年(1669)	個人		○
157		紀州友ヶ島図 狩野興甫筆	1幀	寛文元年(1661)	和歌山県立博物館		○
158		釈迦如来及び迦葉・阿難像 黒漆塗厨子入	3軀	釈迦・迦葉・阿難: 貞和3年(1347) 厨子: 寛永21年(1644)	海雲寺	○	
159	湯浅町	剣 伝明恵所持	1口	鎌倉時代(12～13世紀)	施無畏寺	○	
160	由良町	衣奈八幡宮縁起絵巻	2巻	応永9年(1402)	衣奈八幡神社	○	
161		五体王子へ殿様御参詣日記写	1通	江戸時代(19世紀)	切目神社	○	
162		飛天図絵馬	2面	寛文10年(1670)	切目神社	○	
163		香炉	1合	中国・明時代あるいは江戸時代(17世紀)	切目神社	○	
164	田辺市	奕世年譜	1冊	享保9年(1724)	高山寺	○	
165	和歌山県	田辺町大帳 巻一	1冊	文化9年(1812)以降	關羅神社	○	
166	和歌山県	万代記 巻一～巻五	5冊	江戸時代(18世紀)	關羅神社	○	
167		熊野三山絵図	1舗	江戸時代(17世紀)	熊野那智大社	○	
168		熊野本宮棟札写	1冊	江戸時代(19世紀)	和歌山県立図書館	○	

169		金剛盤	1基	寛永12年(1635)	和歌山県立博物館	○	
170		熊野山本宮権現御修理之目録	1巻	寛永11年(1634)	熊野本宮大社	○	
171		後鳥羽上皇熊野参詣記写	1巻	慶安2年(1649)	熊野本宮大社	○	
172		略記	2巻	慶安2年(1649)	熊野本宮大社	○	
173		熊野懐紙写	3巻	江戸時代(17世紀)	熊野速玉大社	○	
174		剣	1口	鎌倉～室町時代(13～16世紀)	熊野那智大社	○	
175	重要文化財	金銅装宝剣拵 後藤琢乗作 附 銅鍍金銀箱 一箇	1具	拵:寛永13年(1636) 箱:江戸時代(17世紀)	熊野那智大社	○	

## V 藩祖としての頼宣

### (1) 菩提所長保寺

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
176		冠 徳川頼宣所用	1頭	江戸時代(17世紀)	長保寺	○	
177		薄黄地八藤表袴 徳川頼宣所用	1腰	江戸時代(17世紀)	長保寺	○	
178		襦 徳川頼宣所用	1足	江戸時代(17世紀)	長保寺	○	
179		黒漆塗浅沓 徳川頼宣所用	1足	江戸時代(17世紀)	長保寺	○	
180	海南市	長保寺絵図面(廟所絵図)	1幅	江戸時代(18世紀)	長保寺	○	
181		南龍院宝号 公海筆	1幅	江戸時代(17世紀)	長保寺	○	
182		法華経(御八講用)	8巻	寛文11年(1671)	長保寺	○	
183		徳川光貞寺領寄進状	1通	寛文12年(1672)	長保寺	○	
184		慶徳山長保寺南龍院霊牌所墓地法式	1通	寛文12年(1672)	長保寺	○	
185		法華経寿量品	1巻	享保9年(1724)	長保寺	○	
186		銅製香炉並朱漆塗香台	1具	享保10年(1725)	長保寺	○	
187		江戸幕府老中連署奉書	1通	享保10年(1725)	長保寺	○	

### (2) 明治維新と紀伊徳川家

番号	指定	名 称	員数	時 代	所蔵者	県博	市博
188		徳川家康坐像	1軀	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
189	和歌山県	六間筋兜 徳川家康所用	1頭	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
190	重要文化財	白地葵紋綾小袖 徳川家康所用	1領	安土桃山～江戸時代(16～17世紀)	紀州東照宮		○
191	和歌山県	海老蒔絵鞍 徳川家康所用	1脊	安土桃山時代(16世紀)	紀州東照宮		○
192	和歌山県	海老蒔絵鏡 徳川家康所用	1双	安土桃山時代(16世紀)	紀州東照宮		○
193		陣貝 徳川家康所用 附 黒漆塗内箱 一合	1口	安土桃山時代(16世紀)	紀州東照宮		○
194		徳川十六将図	1幅	江戸時代(19世紀)	紀州東照宮		○
195		徳川家康像 伝慈眼大師(天海)筆	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
196	和歌山県	金唐革陣羽織	1領	安土桃山～江戸時代(16～17世紀)	紀州東照宮		○
197	和歌山県	紺糸威胴丸具足 徳川家康所用	1領	安土桃山時代(16世紀)	紀州東照宮		○
198		布袋図 徳川頼宣筆	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
199		和漢朗詠集中詩歌 後陽成天皇筆	1幅	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○
200	重要文化財	刀 銘長曾禰興入道虎徹	1口	江戸時代(17世紀)	紀州東照宮		○

\* 資料番号127の小牧長久手合戦陣立図は、複製品を出展しています。文化財保護上の理由から出展をしない場合があります。

\* 指定欄の略表記は左記のとおりです。

和歌山県(和歌山県指定文化財)、焼津市(焼津市指定文化財)、和歌山市(和歌山市指定文化財)、海南市(海南市指定文化財)、湯浅町(湯浅町指定文化財)、由良町(由良町指定文化財)、田辺市(田辺市指定文化財)

\* 県博・市博欄は、資料が県博(和歌山県立博物館)または市博(和歌山市立博物館)のどちらで出展しているかを示しています。

\* 資料番号81の日蓮聖人坐像の出展期間は、11/2(土)から11/24(日)までです。